

「はるみずき」の特性

(現行品種「ニシノカオリ」との比較)

生育特性

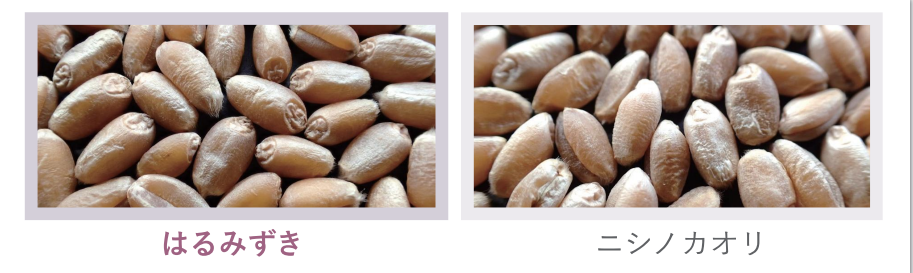
- ① **生育ステージが早い**
出穂期は6日、成熟期は3日早い早生品種
- ② **生育前半の葉色は同程度、やや株が開く**
- ③ **穂は白い**
- ④ **穂数はやや少なく、穂長は長い**
1つの穂にたくさんの子実をつける偏穂重型品種
- ⑤ **稈長が低く、耐倒伏性にすぐれる**

品種名	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏程度 (0-5)
はるみずき	4.01	5.28	79	9.2	397	0.7
ニシノカオリ	4.07	5.31	91	7.9	450	1.7
比・差	6日早い	3日早い	12cm低い	1.3cm長い	12%少ない	倒伏軽い

収量・品質特性

- ① **1穂粒数が多く、収量は多収**
容積重は同程度、千粒重は軽い
- ② **タンパク質含有率は同程度**
- ③ **外観品質は同程度**
穂発芽耐性および赤かび病耐性にやや優れる(育成地調べ)

品種名	子実重 kg/10a	容積重 g/L	千粒重 g	品質		病害・諸障害		タンパ ク質 含有率 %
				概評 (1-6)	検査 等級 (1-5)	赤かび 粒 (0-5)	硝子粒 (0-5)	
はるみずき	509	845	37.1	3.6	3.6	0.0	8.8	14.2
ニシノカオリ	458	844	41.9	3.2	3.1	0.0	8.5	14.5
比・差	11%多収	同程度	4.8g軽い	同程度	同程度	同程度	同程度	同程度



「はるみずき」栽培のポイント



単収 350kg 以上・子実タンパク 13.5% 以上

確実に収量を確保し
醤油用小麦に求められている品質(高タンパク)を達成する

① 播種 播種期と播種量を守り、良好なスタートを切る

✓ 播種適期: **11月下旬~12月上旬**

- ・早すぎると茎立が早まり、凍霜害に遭うリスクが高まる
- ・遅すぎると生育量が劣り低収となる

✓ 適正播種量: **7~8kg/10a** (11月下旬・ドリル播の場合)

- ・晩播(12月中旬播)となる場合は、2~3割増量する
- ・散播で播種する場合は、出芽数確保のため2~3割増量する

② 施肥 確実に施肥し、収量とタンパクを安定的に確保

基本施肥体系

(窒素施用量:kg/10a) **5 - 2 - 5 - 6**
基肥、分けつ肥、穂肥は各圃場の地力や生育状況等に合わせて量を加減

✓ 穂肥: **適期・適量** 施用する …植物体の体力維持、適正穂数の確保

「はるみずき」は**茎立期~出穂期の生長スピードが早い**ため
散布適期を逃さないように注意

✓ 実肥: **適期に・確実に** 施用する …タンパク値向上

穂揃期頃の**粒状硫安**の散布が最も効果が安定する
(赤かび病防除時に尿素6%溶液の葉面散布[2回]でも可能)

③ 管理作業 生育環境を整え、品種の力を引き出す

✓ 麦踏み・土入れ、雑草防除を励行

✓ **赤かび病防除**を防除適期に実施

注1) 2015~2019年播奨品種決定調査(標準播[11月17~21日播種]・条播)によるデータ。

注2) 倒伏、病害及び諸障害の発生程度: 0(無)~5(甚)、硝子粒のみ0~10。

注3) 使用ふるい: 2.0mm。子実重、容積重、千粒重: 水分12.5%換算値。タンパク質含有率: 原粒、水分13.5%換算値。

注4) 品質概評: 1(上上),2(上下),3(中上),4(中中),5(中下),6(下)、検査等級: 1(1等上)~4(2等)~5(規格外)。